

一級河川北上川水系 大沢川 上大沢ダムの効果(令和8年7月31日～8月2日)【速報】

宮城県

○上大沢ダムでは、令和8年7月31日から8月2日にかけての大雨により、**流域平均の累計雨量が326mm、最大時間雨量では29mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画70m³/sに対し、**10.77m³/sを記録し、これは計画の15.3%に相当する量です。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の50.0%(5.38m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



上大沢ダムの洪水調節実績

・洪水調節	1回目開始	1日 3時 0分	終了	1日 5時 20分
	2回目開始	1日 12時 30分	終了	1日 14時 30分
	3回目開始	1日 18時 20分	終了	2日 3時 40分
・ダム流域累計雨量	326 mm (31日 20時 ～ 2日 12時)			
・最大時間雨量	29 mm (1日 22時 ～ 1日 23時)			
・ダムへの最大流入量	10.77 m ³ /s (1日 23時 10分)			
	(4位/28洪水)			
・最大流入時の放流量	5.39 m ³ /s			
・ダムによる最大調節量	5.38 m ³ /s (約 50.0 %)			

ダムの状況写真



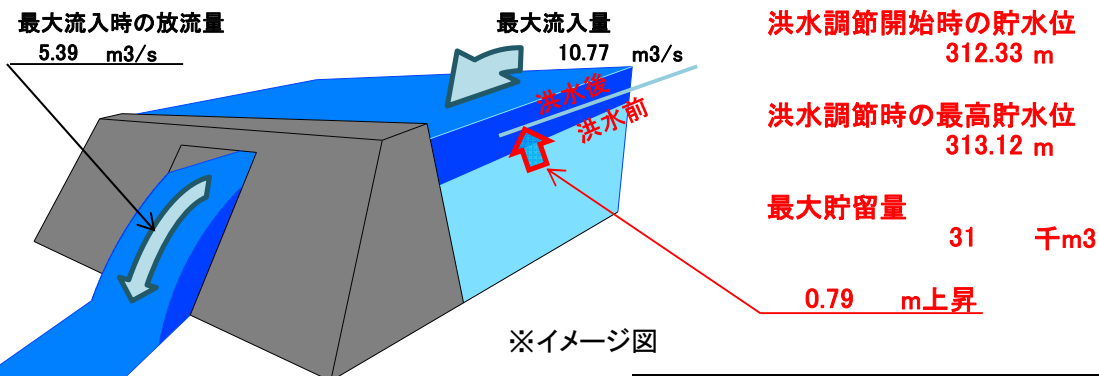
貯水位 312.63m
(1回目洪水後 8月1日5時30分)



貯水位 312.13m
(洪水後 8月3日8時40分)

上大沢ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 50.0% をダムに貯留しました。



一級河川北上川水系 大沢川 上大沢ダムの効果(令和8年7月31日～8月2日)【速報】

宮城県

○ダム下流の大沢川では、橋元基準点においてダムの効果について検証しております。

○今回の洪水調節等により、この橋元地点で、**水位を最大0.21m低減させる効果**があったものと推測されます。仮にダムが整備されていなかった場合、橋元地点での河川水位は1.02(TP.264.47)mと推測され、ダムの効果により河川が氾濫する危険が軽減されました。

下流河川の状況写真

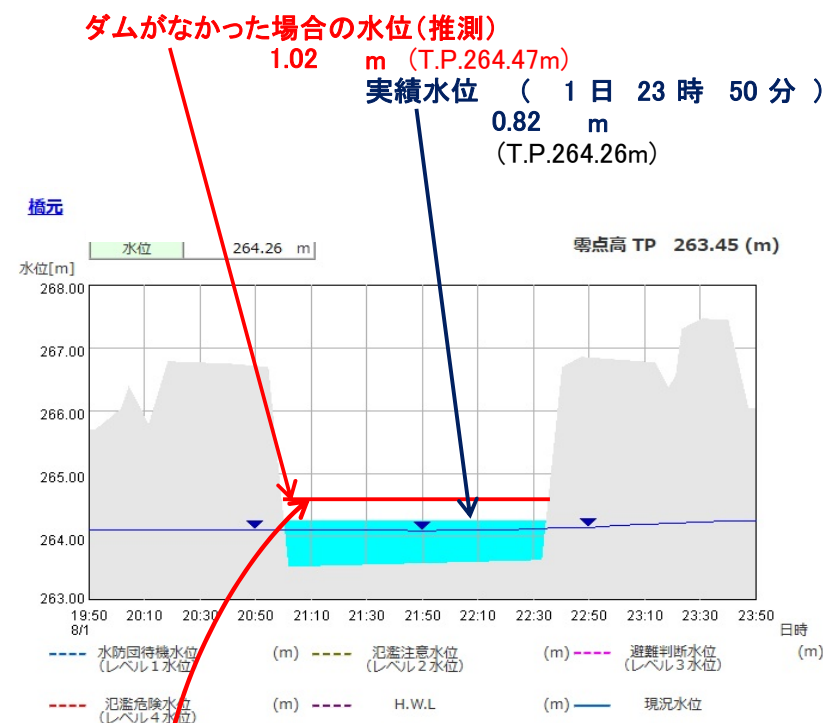


水位 0.59m 流量 42.02m³/s
橋元水位観測所(洪水中 8月1日 4時50分)



水位 0.36m 流量 15.93m³/s
橋元水位観測所(洪水後 8月3日 9時00分)

大沢川(橋元地点)の水位低減効果



ダムにより約0.21mの
水位低減効果を推測